



遠賀川の植物

遠賀川水系では現在ヨシやオオタチヤナギなど135科1060種の植物が確認されています。おもな植物について、分布を示しています。

凡 例	
保 存	: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種
国 R L	: 「環境省レッドリスト2019 一報発表資料 環境省レッドリスト2019の公表について」(環境省、平成31年)の掲載種
県 R D B	: 「福岡県の希少野生生物 一福岡県レッドデータブック2011(改訂版)」(福岡県、平成23年)の掲載種
特定外来生物	: 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の特定外来生物
国 R L・県 R D B の絶滅危惧種カテゴリー	
危 惧	: 絶滅危惧 (CR+EN+VU)
危 惧 I	: 絶滅危惧I類 (CR+EN)
危 惧 IA	: 絶滅危惧IA類 (CR)
危 惧 IB	: 絶滅危惧IB類 (EN)
危 惧 II	: 絶滅危惧II類 (VU)
準 危 惧	: 準絶滅危惧 (NT)
不 足	: 情報不足 (DD)
個 体 群	: 絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)

貴重な植物

 オオミクリ(ガマ科) 国RL: 危惧II 浅い水底から直立して生える多年草。果実がワリの実に見えるので、この名前がつけました。黒川の一部で確認されています。	 アゼオトギリ(オトギリソウ科) 国RL: 危惧IB、県RDB: 危惧IB 田の畦や河川敷の草地に生える多年草。7~8月に黄色の花をつけます。遠賀川の特徴の一つは、全国的に絶滅寸前である本種が遠賀川に点在していることです。	 キキョウ(キキョウ科) 国RL: 危惧II、県RDB: 危惧II 日当たりのよい草地に生える多年草。	 アサザ(ミツガシワ科) 国RL: 準危惧、県RDB: 危惧IA 池や川の水の中に生える多年草。葉は水面に浮かび、6~8月には黄色の花が見られます。遠賀川の一部で確認されています。	 タコノアシ(ユキノシタ科) 国RL: 準危惧、県RDB: 危惧II 花のつきかたがタコの足に似ていることからこの名前がつけました。遠賀川と彦山川の河原や湿地で見られます。
--	--	--	---	---

 ヨシ	 マコモ	 オギ	 メダケ
 ツルヨシ	 ウキヤガラ	 オオタチヤナギ	 チガヤ

オオタチヤナギ(ヤナギ科)
河岸によく見られる落葉樹。大きなもので15m位になります。遠賀川流域でも中流~下流にかけてよく見られます。

ヨシ(イネ科)
河岸や砂洲に生える大型の多年草。昔はアシと呼ばれていましたが、「悪し」に通じるため、ヨシ(よし)に名前が変更されました。

 ヨシ	 ヨシ	 ウキヤガラ	 オオタチヤナギ
 ハマボウ	 マコモ	 オギ	 チガヤ



外来植物

 アレチウリ(ウリ科) 特定外来生物 河川敷、畑地など、日当たりの良い肥沃地を好む一年草。果実には鋭い刺があり、在来植物を覆いつくすほど大繁殖することがあります。	 オオキンケイギク(キク科) 特定外来生物 河川敷、堤防などの日当たりの良いところに生える多年草。カワラナデシコなどの在来植物と競合し駆逐することがあります。	 オオフサモ(アリアトウグサ科) 特定外来生物 湖沼やため池、河川に生える多年草。切れ藻から再生するため、水面全体を覆い尽くすほど大繁殖することがあります。
 セイトカアワダチソウ(キク科) 国外外来種 乾燥した場所や日陰、湿地など、様々な場所に生える背が高い多年草。根から周囲の植物の成長を抑える化学物質を出します。	 オオブクサ(キク科) 国外外来種 河川敷、堤防などに生える大型の一年草。スギ、ヒノキに次いで、花粉症の原因として知られています。	 セイバンモロコシ(イネ科) 国外外来種 河川敷、堤防などに生える大型の多年草。堤防法面を覆い、車両などが通れないことがあります。